



新生ホフマングランドピアノ レクチャー・コンサート & ご試弾会

2010. 3. 17(水) 14:00~
ユーロピアノ八王子営業技術センター

ヨーロッパ・メーカーのグランドピアノ…プロ、アマチュアを問わず、すべてのピアニストの夢と言っても過言ではないかもしれません。

タッチ、音楽性、表現力、どれをとっても長い物づくりの歴史を経て生み出されているヨーロッパ・メーカーのピアノ。ベヒシュタイン、スタインウェイ、ベーゼンドルファーと、どのメーカーも音づくりのためのゆるぎない信念、コンセプトに基づいてそれぞれに特長的な響きを紡ぎます。しかし、

「もちろんヨーロッパ・メーカーが素晴らしいのは理解できるけれど、予算的に現実的ではない」

とあきらめてしまいませんか？

そんな方こそ、新生ホフマンのグランドピアノをご覧ください。

新生ホフマンはベヒシュタインのエンジニアとマイスターで構成する技術チーム R&D(Research&Development)セクションで設計され、チェコのベヒシュタイン・ヨーロッパ工場で製造された100%ヨーロッパ製、従来の「セカンドモデル」とは一線を画する、ベヒシュタイン社の自信作です。価格帯も **255万~315万**と国産並みのコストパフォーマンス。

ぜひ一度、ご自身の耳で確かめてみませんか？ きっとうれしい驚きがあるはずですよ。

しかも将来、ベヒシュタイン・コンサートモデルに買い替えの際にはホフマン購入時の金額で下取りさせていただく「ホフマン・ギャランティー」が使えます。

このたび新生ホフマンを体感していただくためにレクチャーコンサートをご用意しました(ご試弾含めて2時間程度です)。ピアニストは新進気鋭のピアニストで、ピティナHP連載で知られざる名曲の紹介コーナーをお持ちの内藤晃さん。ご自身でも国産のグランド(G2)とベヒシュタインのグランド(K)を所有されています。「よいピアノはどんなピアノなのか」「国産とヨーロッパピアノの違い」など、みなさまが漠然と疑問に思っていることを実際に演奏をまじえて体感、納得していただけます(使用予定ピアノ:YAMAHA GP/W.HoffmannT161 その他)。

また、日本では少ないドイツ・ピアノマイスター取得技術者の加藤正人が、国産とベヒシュタインの構造や材質の違い~その結果としての響きの違いをわかりやすく解説いたします。楽しみながらピアノ選びでの疑問が氷解するおすすめのイベントです。グランドピアノ購入をご検討中の方はぜひ、聴講なさってください。

■内藤 晃(ないとうあきら)

1985年生まれ。5歳でピアノを、12歳で打楽器を、15歳で指揮を始める。これまでにピアノを城田英子、川上昌裕、デイヴィッド・コレヴァー、ヴィクトル・トイフルマイヤーの各氏に、ピアノ・音楽理論を広瀬宣行氏に、指揮を紙谷一衛氏に師事。ピアノ調律技術も学ぶ。2003年、第13回日本クラシック音楽コンクールピアノ部門 高校の部全国最高位(第2位)受賞。2007年5月に杉並公会堂大ホールにて開催したリサイタルを機に、2008年3月、デビューCD「Primavera」をリリース、レコード芸術誌にて特選盤に選出されるなど高く評価される。東京外国語大学ドイツ語学科卒業。現在、桐朋学園大学にて指揮の研鑽を続けるかたわら、ピアノ、指揮、執筆など多方面で活躍。(社)全日本ピアノ指導者協会(PTNA)にて、ピアノ協奏曲体験企画「コンチェルトステップ」の指揮者を務め、知られざる佳曲を紹介するウェブコラム「名曲喫茶モンポウ」を連載。研究会や公開講座の開催なども含め、独自の活動を展開している。

■お申し込み・お問い合わせ

ユーロピアノ株式会社 (open9:00~18:00/土日定休)八王子市元横山町 1-12-6 電話 042-642-1040



満席が予想されますので、必ずお電話にてご予約ください。